



# 町長のしごとと日記

～元気で笑顔のあふれる福島町を実現するために～

【いよいよワクチン接種がスタート・・・】

早いもので令和三年がスタートし五カ月が経過しようとしております。

今年の岩部クルーズも運航を開始し、五月一日（土）の初出航を見送ってきましたが、第二便は満席で、乗船された方々は、思いがけないイルカとの遭遇などに満足した様子で下船しております。また、先日のテレビでも岩部海岸及び青の洞窟が再放送され、魅力が存分に画面に映し出されておりました。

新型コロナウイルス感染症は、国の三度目となる緊急事態宣言の延長が決定し、都市部では依然厳しい状況が続いております。そのような中、国からのワクチンの第一便、一箱（約四百八十人分）が町に到着し、五月七日（金）から病院等の医療従事者や高齢者施設などのワクチン接種が順次始まり、医療機関等八十九人、高齢者施設百十五人などの方々が一回目

の接種を終えております。

また、五月十五日（土）・十六日（日）の両日、八十二歳以上の高齢者の方々の集団ワクチン接種が始まっており、二日間で、二百六十人の方が接種しております。

さらに、第二便が五月十九日（水）に到着しており、順次、段階的に年齢を引き下げながら接種を進めており、六十五歳以上の方々全員が早めにワクチンを受けられるよう作業を進めております。

多くの皆様がワクチンを接種することで、当たり前の日常に早く戻ることを願うものであります。

四月二十一日（水）、札幌市のホテルポールスター札幌において、『第二十六回北海道漁港漁場大会』が開催されました。今年度の漁港愛護優良団体知事表彰に、当町から福島吉岡漁業協同組合福島地区女性部の活動の功績が認められ、鈴木知事より感謝状が贈呈され

ております。

栄えある受章、誠に御めどうございます。引き続き、漁港愛護の活動にご尽力くださるようお願いいたします。

四月二十二日（木）に、北海道町村会の『第七十五回定期総会』が開催され、全道から多くの町村長が参加しております。

大会では、役員の選任が行われ、棚野白糠町長が会長に再選され、決議案として新型コロナウイルス感染症防止対策の徹底、地方創生の推進と地方財政基盤の強化など、十三項目の実現に向けて、強く行動することを決議しております。

また、当日は、記念講演が行われ、小説家の真山仁講師が「グローバル感覚の常識・非常識」と題して講演を行い、最前列でお話を聞くことができました。

真山氏は、ドラマ化された「ハゲタカ」、「当確師」など、幅広い社会問

題を現代に問う作品を世に送り出してあります。

講演の中で日本人と外国人、特にヨーロッパ、アメリカ圏と日本との氣質の違いについて、性善説と性悪説を例に話されていたのが特徴的でした。

性善説は、中国の思想家の一人孟子の教えであります。人間は本来弱い存在であり、努力することによって後天的に善を獲得できる。人間の本性の捉え方の違いはあるが、目指すゴールは「立派な人間になる」ことに変わりがなく、努力することにより達成されるものだと考えております。

行政や政策を進めるうえで、二つの相対立する考えを同時に心に抱きながら、正常に機能することが必要であり、それを局面によって使い分ける。そのコツが真にバランスの取れた、まちづくりを進めるうえで大切なことと思えます。